

蓄電池導入に補助金の交付を受けられます。

最大1/3の補助が受けられる対象機器に指定されています。

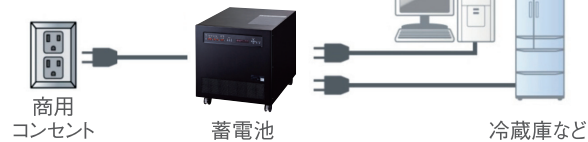
※申請期限：平成25年12月末日（平成24年8月現在）



ESSP-3001/1.2kWh と ESSP-3002/2.4kWh の 2モデルのラインアップ

■ USP 不要の簡単設置

● 接続イメージ図



※無瞬断のため、サーバーなどの機器に対してもUSP不要

■ インテリジェント機能 3つのスマートな運転モード



※バッテリー状態がひと目でわかる表示パネル

- USPモード
- ピークカットモード
- ピークシフトモード

システム導入のポイント

- BCP(事業継続計画)と従業員の安全確保に貢献
事業継続を行う為の機器(PCやサーバー・非常設備など)を接続しておくことで、停電時には自動切替で電源供給を継続。非常用発電機を動作させる間もシームレスに事業継続が可能。
- 電力ピークシフトに対応
深夜電力で充電を行い、電力需要ピーク時は蓄電池から電力を供給、最大消費電力を抑制。

装置の用途・特徴

1. 長寿命

※約6000サイクルの充放電でも80%以上の性能を維持

1日1回の充電・放電を行った場合、10年以上(※室温23℃の場合)の期待寿命をもつ蓄電モジュールを搭載することで、電池交換などの手間を省き、ランニングコストを抑えることができます。

2. 充電時間

※蓄電モジュールの性能、およびマネジメントコントローラーでの適切な制御により実現
ESSP-3001は約3時間、ESSP-3002は約6時間で充電ができます。

3. 高い安全性能

※米国安全規格「UL Subject 1973」のUL認証を取得(蓄電池として世界初)燃え難い等の熱安定保存特性に優れたオリビン型リン酸鉄リチウムを正極材に採用したリチウムイオン電池。コントローラーにより蓄電モジュール内の異常を検知する自己診断機能など、利用状態を安全に制御できます。

満充電時の使用可能時間(例)

	消費電力	台数	消費電力小計	使用可能時間	
				ESSP-3001	ESSP-3002
サーバー	400W	2	800W	約1時間	約2時間
デスクトップPC	80W	5	400W	約2時間	約4時間
LED蛍光灯	22W	12	264W	約3時間	約6時間
40型液晶TV	190W	1	190W	約4時間	約8時間
ノートPC	20W	5	100W	約6時間	約12時間
携帯電話充電	5W	10	50W	約10.5時間	約21時間

事務室照明 (ESSP-3002の場合)

最低限の活動の為に電灯は必須



22WのLED蛍光灯12台で、
約6時間継続点灯

TV・電話など (ESSP-3002の場合)

情報収集や連絡手段として必須
携帯電話やスマートフォンの充電も



40インチTV1台で、約8時間
約3000回の携帯電話充電

PC・サーバー機器 (ESSP-3002の場合)

インターネット接続やメールサーバーなど
本社・支店間業務システム端末など



ノートPC5台で、約12時間
400Wのサーバーシステムで、約2時間

平常時にもタイマー運用により、電力ピークシフトが可能

あらかじめ設定した時間になると自動的に蓄電池から放電させることで、15%カットなどの政府からのピーク電力抑制要請への対応に活用できます。夜間充電を行う事で、電気料金の削減にもつながります。常時接続しておくことで、いざという時の蓄電池への充電切れも防げます。

